



第2部で講演中の武村正義元滋賀県知事

去る4月19日(日)坂本城を考える会の第三回総会を開催しました。会が発足して三年目を迎え、多くの事業計画が承認されることとなりました。二部の講演に武村元知事をお迎えして講演して頂きました。武村元知事は今まで、政治家として輝かしい実績を残されて来たので、政治・経済・文化・歴史等々ご自身の体験を通じて誠に示唆に富んだお話を熱く語って下さり、深い感銘を受けました。私たちの会に対しても夢と希望、又期待と信頼を抱いてくださったように見受けまして、大きな勇気を頂きました。新年度より役員も少々入れ替わりまし

# 4月19日/下阪本市民センター 第三回総会を開催

去る4月19日(日)坂本城を考える会の第三回総会を開催しました。会が発足して三年目を迎え、多くの事業計画が承認されることとなりました。

二部の講演に武村元知事をお迎えして講演して頂きました。武村元知事は今まで、政治家として輝かしい実績を残されて来たので、政治・経済・文化・歴史等々ご自身の体験を通じて誠に示唆に富んだお話を熱く語って下さり、深い感銘を受けました。

**武村氏** (元知事・衆議院議員)  
**講演・夢と期待**  
**坂本城復元の方角を示唆**

# 坂本城

を考える会  
 ニュース

坂本城を考える会発行  
発行責任者 天田 省三  
大津市下阪本5丁目10-6

- 1 会員の拡大に積極的に取り組みます。
- 2 光秀関係地(福知山・亀岡方面)に、日帰りバス研修(十月下旬)に行きます。
- 3 大河ドラマに光秀誘致の署名活動に取り組みます(九月末まで)。
- 4 講演会を開催(二月)します。
- 5 行政機関(県・市・観

## 具体的な年間事業計画が決まる

て十三名でスタートを切る事となりました。新役員は前向きに取り組もうとする姿勢に新たな勇気を得る思いです。今年は更に大きな希望の年であります様に精一杯頑張る所存です。会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。(天田)

- 6 光協(会等)に働きかけます。
- 7 ホームページを充実します。
- 8 下阪本学区文化祭(十一月)に参加しアピールします。
- 9 坂本城を考える会ニュースを年三回(五月・十一月・三月)発行充実します。
- 10 坂本城趾公園の清掃奉仕活動を年三回(六月・十月・三月)行います。



<主催:坂本城を考える会>

戦国歴史のロマンを想いつつ!

## 坂本城趾公園掃除に参加しませんか!

とき 6月21日(日)  
9:00~2時間程度  
ところ 大津市下阪本1丁目「坂本城趾公園」  
北大津湖岸緑地・駐車場有

明智光秀立像前 9:00集合

■掃除用具は準備します。  
■雨天中止・天候不明のときは、当日朝7:30に判断します。天田まで連絡を。

■参加費無料  
おにぎり・みそ汁のサービス有ります

■会員募集中  
年会費 1,200円

■問合せ先 坂本城を考える会  
代表世話人 天田 省三  
077-578-3635

幹事 並木 益雄・本田 彰・梶原 大義・藤本 一也・木下 琴絵・中田 安子  
 監事 坂手 孝夫  
 顧問 日花 基次・篠原 弘

# 総会に参加して思う

大津市

## 軸丸昭子

ともあれ、いい総会ができたことを一会員として喜びたい。

総会の後、武村元滋賀県知事による記念講演がありました。初めに下阪本センター4階の会場の窓から外を見て「坂本城はどこか」と



尋ねられました。広がる琵琶湖の景色を眺めながら坂本城のことだけでなく多方面にわたるお話をしていただきました。日本一大きい湖と多くの古い歴史を誇るこの滋賀の地を大事にしていかねばならないことを改めて確認し、この地に住んでいることに感謝しました。明治以降全国的に各地のお城は取り壊されてしまいました。日本と違ってドイツではお城や古い街並みが大事にされているのを青年期住んでいた当時目にし、氏は感銘を受けたとのこと。知事時代に安土城復元に力を注がれましたが、正しい見取り図がないために復元まではできていません。今回の坂本城復元に深い理解を示され、実現できるとの力強

いお言葉をいただきました。明智光秀は「三日天下」などよく言われていますが、高い教養と礼儀を身につけた立派な殿様であったそうです。それで今、本当の姿を皆に理解していただくため「SBS大河ドラマ」に取り上げてもらうとうと光秀ゆかりの各地で署名運動が起こっているということ。是非とも、地元の坂本だけでなく近隣の地区に広げ、ひいては県全体の運動にまで盛り上げていってほしいと思います。

大津市

## 桐村正博

夢のようなことですが、坂本城が復元できますよう、これからも講演会など催して頂いてもっと多くの人に理解を深め歴史のロマンを共に味わいたいと思います。

先日開催されました総会には、私自身は所要のため参加できず、その代わり妻が参加してくれました。妻は武村先生の講演に学ばせて

頂き、ドイツは自国の歴史を大切にしており、日本もそうあるべきと熱く語られていたところに深い感銘を覚えたようでありました。

思えばとある人物の評価が時代の為政者の思惑で変わって参ります。織田信長といえは戦後最も人気のある戦国武将の一人であり、その謀反人である明智光秀は一般的にはどうしてもいいイメージはもたれませんが。

しかし戦前、信長が修身で取り上げられたとの話も聞かなければ、暦を作るとの皇室の権威、権限を我が者としようとしたり、そしてそれを阻止した光秀。忠君愛国が美風の時代では余程、光秀の方が忠臣と評価されていたのではと手前みそに想像しております。

日本は島国で極東と呼ばれるほど欧州から最も離れていることが幸いし、長い間その国際戦略の影響を受けずに済みました。しかし航海技術、交通手段の発達と共に、国家戦略の尖兵となる宣教師や鉄砲や火薬を

売る死の商人が輩出したのでありましょう。信長の時代には、ポルトガル出身の彼らが来日し、その大きな影響力のもと、信長という専制君主を生み出した。事を思います時、それを阻止し太平の世となる徳川幕藩体制に繋いだ光秀の勇氣ある行動は三日天下と揶揄されておりますが、日本の独立を守るとの観点では計り知れない貢献だったので、はと思わせて頂きます。

思えば明治維新の影には英国の国際戦略があり、戦後は米国の国際戦略の影響をもちに被っている日本でもあります。結果、派遣切りやワーキングプアとの言葉が示すとおり、不安定な雇用情勢の中、格差はますます拡大がり、自殺者もが増え続けると殺伐とした社会が形成されております。こういう時代だからこそ光秀公の真の国益、国民の仕合わせを守ることに命をかけてられたその功績が顕彰され、今の憂うべき状態に一石を投じる働きが求められてい

ると思います。  
 総理が二十年の間に十四人もでてしまう、名君なき時代と申しても過言でない平成の世。本会の活動、運動の拡がり、単に築城という物理的な成果でなく、その過程で名君とは何かを社会に再考させる啓蒙活動につながることを期待する次第であります。

大津市  
**江上眞一**

先日の4月19日(日)「坂本城を考える会」の総会



2月14日、大津市民会館にて天田会長はNHKのど自慢大会で、会の発展のため「光秀(おとこ)の意地」(唄/鳥羽一郎、作詞/祝部禎丸・当会会員)を熱唱するが、惜しくも予選通過ならず

新居を構え現在に至っています。私が本会に興味を持ちましたのは、私は熊本生まれですが、小さい頃から、明智光秀の娘であった細川ガラシャの名前を知っていたこととガラシャが美しく

聡明な女性でクリスチャンであったことが心に残っていたからでした。細川家は肥後(熊本)の藩主であり細川ガラシャの墓も熊本にあります。また同居の祖母がクリスチャンだったこと。そして熊本には石垣の曲線美で有名な熊本城(別名カラス城:黒いお城だから)があり、明治時代の西南の役でお城が焼け落ち、現在は再建されたお城となっています。熊本にゆかりの深い細川ガラシャの父親である明智光秀の居城でもあった坂本城、その坂本城の再建のロマンに心を打たれたからであります。

前置きが長くなってしまいました。武村先生のご講演の中で、政治・経済のお話も興味深いものがありました。先生が滋賀県の文化に対して非常に造詣の深いことや思い入れの深いことも知ることができました。我が会の強力な後ろ盾ができたような思いです。また先生は「琵琶湖、歴史、自然」をキーワードとして

大津市  
**山崎隆朗**

世界遺産への挑戦を提案されました。環琵琶湖文化帯が連帯して近江の国の文化復興に当たることの重要性も示唆いただきました。我が会も同じような会との協力体制も考慮すべきでありましょう。そして、国からのバックアップを受けるためにも何とか歴史的な資料から坂本城の当時の雄姿を手に入れ、再建にこぎ着けたいものです。

毎年四月は多忙な月である。ペンの会合や、カルチャー関係の組織の編成替えがある関係で、急な仕事とびこんできたりする。十九日の総会では天田会長から前もって聞いていたので、他の予定を入れないようにしていたのだが、優先度が大きいものが入ってくると、どうしてもそちらを重んじなければならぬ。幸い、重なった会合も会つたが断れる程度のもので

たので、私は勇んで総会に出席したのである。その理由は武村正義氏にあった。武村氏が「小さくともキラリと光る国日本」を出版されたとき、武村氏の会合に何度も出席して、お話を聞く機会があった。その環境論・政治談にすっかり魅せられてしまったのである。総会で講演されると伝え聞いてその頃の興奮が蘇ってくる気がした。とにかく出席しなくては、と気持ちのはやった。総会には多少不慣れなところもあったが、滞りなく、議事は進行した。かつてある団体の総務担当として、総会事務局を何度か経験している目から見ても、会の組織が徐々に固まりつつあるように感ぜられて、好ましい眺めであった。やはり庄巻は武村氏の講演で、市長から知事へ、国会議員、政党党首、大臣と華々しく政治街道を歩んで来られただけに、豊かな識見、鋭い切り口による談話は聞く人を惹きつけて止まない。



その内容は示唆に富んでいて、考えさせられることが多い。

考える会へのアドバイスも実に貴重で、これは役員だけでなく、われわれ一般会員も真剣に考え、取組まねばならないと思う。

考える会も会員が増えてきたことがよろこばしい反面、これからは総会や大きなイベントは、坂本を離れて、交通アクセスのよい、駐車場に余裕のある市の中心部へ会場を移すことを、検討する時期に来ているように思う。

会員を増やし、知名度を

高め活動を展開するためにも必要なことと考えるが如何であろうか。

大津市  
**田川太一**

坂本城を考える会の第3回総会に出席させて頂き、武村先生の、元滋賀県知事としての、豊かな経験をお話をお話を聞かせて頂き、誠に時宜を得た催しと感銘深いものがありました。先生が滋賀県知事として京都府知事と対談された折、滋賀県に比べて京都が、歴史的にみて新興地であったと表現された時の事を面白おかしくお話なさいました。京都に対して一歩もひけを取らず、滋賀県人としての高い誇りと、歴史的理解の確かさをお持ちになって居られる事に深く感じ入りました。それは、県のどまん中に、大きな琵琶湖の様な湖を備えた処は、何処にも存在しないと云う、滋賀県の立地上の深いご考察から来るものと拝察致しました。

又、先生が自民党から飛び出されて「魁」を結成され、樹立されました細川政権では、大蔵大臣と云う要職をお務めになっただけに、若しも可能ならば、大津市の不景気対策の一つとして、案外、面白い投資の案件となるのではなからうかと示唆されました。そう云われれば、坂本城や、膳所城などの外形については、殆どの人達は何も知らされて居ないではありませんか。安土城については、当時の資料に、日本から、ローマに向かつて親善使節が、安土城を絵がいた屏風を持参したとの文書が見つかって居て、きつと今でも何処かの地下室に保存されてゐるものと信じられて居るし、今だに安土町長が、公文書を持ってイタリアに渡つてゐるとの由。案外、城の再建の鍵は、こんな処に存在するのかも知れません。坂本城だけでなく、膳所城でもよいが、たかだか、今から、四百数十年昔のことである。若しも、城の絵図

か、屏風か、そうでなくても城の建築に関する資料が何処かに保存されて居ないものだろうか。若しも、屏風などが、何処から出て来たとしたら、そして、それを文化庁に持ち込めたと想像すると、坂本城を考える会は、たちまちにして坂本城を再建する会へと衣変えする事必定なのではないでせうか。

大津市  
**藤田健二**

歴史と自然の宝庫と言われる湖国の中心地で、光秀築城の坂本城を再現したいと熱望され、その強靱なまでの前進意欲といずれ天にも届くかと感動を憶えるような至誠心で迫つてこられるときの人、天田省三会長との再三のお勧めに、「男、意気に感ず」と本会に入会された同志が多数おられるものと拝察、私も及ばずながら陰からの支援をと昨年初入会させて戴き、今年、初めて総会にも出席させて戴

きました。会長の光秀像や坂本城構築への布石を希う熱弁を聞かせて戴いた後、総会の議案審議が定刻通り無事に終了し、思いがけないゲストとして武村正義旧知事の「的を得て嬉しい」感のご講演を拝聴し、本会の今後の明るい陽射しを感じました。「考える会」ではなく、「構築を進める会」に脱皮するよう、その為には城趾の開発行為に関する合法的手立てを究明して、先ず正確な史実としての坂本城の図面を蒐集すること、次に、地元住民をはじめとする城趾資料館等の建築同意の署名活動から進めてゆくことなど、亦、古文書や絵画、埋蔵資材等を蒐集することと極めて具体的な方策をご提示下さったことであります。故老に学ぶ現在の世相を反映してか、歴史復興のブームにのって、各地で神社仏閣やお城などの再建が盛んでありますが、その幾割かは挫折又は中止の憂き目に逢っている事実についても

言及下さり、今後、「坂本城再建を進める会」に発展してゆく夢が大きく膨らんだ総会でありました。

近江八幡市

# 馬場つた

過日は久しぶりに武村先生のご講演を拝聴して、「すいっと」致しました。

政党的ご意見、また滋賀の事をいろいろ知っておられる武村さんは頭のいい方だなあーと思いました。そして考える会のご出席の会員方も感じのいい方で、天田会長のご意思を応援していらっしやるのだなあと好感を覚ええました。

夕べも大河ドラマ「天・地・人」をみていて、信長が光秀を足蹴りしているのを家康が「もうよして下さい」と信長に諫言されたシーンをみて、光秀の無念さをひしひしとよみとりました。「戦国時代信長の横暴な決断行動をしなければ国は治まらなかったのだ」と言う人もありますが、私は文武

に優れた光秀の方が好きです。会長が今の世の中、子供達に歴史も教えずだんだんと昔の史跡が消されていくのは何としても悲しいです。淋しいです。光秀ゆかりの丹波・丹後方面の旅行たのしみにしております。沢山の方がご出席でよろしかったですね。会長様のご熱心さに皆引かれてゆかれるのだと思います。

高槻市

# 住友佳一

過日、平成二十一年四月十九日、初めて「総会」に出席をさせて頂きました。目出度く三年目を迎え、発足以来頑張つてこられた地元役員の方々に改めて敬意を表す次第であります。

この節目に当る今回の総会に、天田会長をはじめ役員の方々の努力により、特別講師として、地元が誇る武村先生をお招きできた事は、色々な意味で快挙だと思います。ご承知の通り先生は、滋

賀県知事在任中、県民との対話を中心に、一番重要な環境問題を機軸に、画期的な政策を積極的に打ち出され、実行に移された事で全国的に有名です。

昭和五十四年（一九七九）十月十七日に制定された「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」は、日本初の合成洗剤追放の条例でした。

昭和五十九年（一九八四）七月十九日に制定された

「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」は、早々と環境保全を強調した条例で全国的な注目を集めました。さらにその年の八月二十八日から三十一日の四日間、滋賀県主催の「国際湖沼環境会議」が大津市で開催されました。湖沼の環境問題で世界を動かした訳です。

因に、この会議には現在の嘉田由紀子知事も琵琶湖研究所の研究者として参加し、滋賀県立琵琶湖博物館を提唱しておりました。

その後、昭和六十一年（一九八六）七月六日の第

三十八回衆議院議員総選挙（衆参同日選挙）に立候補され当選、国政に進出、その後の活躍は周知の通りです。現在の政局については、立場上、明言は避けられておりましたが、平成十八年（二〇〇六）一月三十日毎日新聞より単行本かされた「私はニッポンを洗濯したかった」を購読されましたと先生の本意が伝わってくるのではないかと思います。注目すべき事として、我々が現在「坂本城復元」を考えている様に、先生も知事在任中、織田信長が天正七年（一五七九）に築城した安土城を復元し、国の重要文化財として認可を得ようと紛争されたというこ

とです。

この城は五層七重の天守を中心とした近代城郭の草創期の城で、信長の権威を天下に示す豪華絢爛を極めたお城ということですが、天正十年（一五八二）本能寺の変と同時に焼亡しており、原型を証明する資料が皆無に等しく実物に近

い復元が困難なため、文化庁からの認可が下りず、実現に到らなかった様です。今回、先生のお話から気付いた事は「坂本城復元」に向け、今後も地元の方々の意識を高める努力は当然ですが、さらに地域を代表する市会議員の先生方の力をお借りし、議会にてその主旨を説明して頂、わずかも市の年間予算に組み入れてもらう様、我々から働きかけをする事が必要だということですが、継続という力が次第に大きくなり、多くの力強い味方を得る事で、一歩づつ目標に向かって進んでいくという実感が湧いてきます。何時も大阪から見守るだけで大変申し訳なく思っています。今後、更なる発展を心からお祈り申し上げます。

## 編集後記

総感たかたうらやま。多くの方から参加いただき、ありがとうございました。お寄せいただいたお話を、今後はぜひとも掲載したいと思います。